



「明日という言葉が再び輝きを取り戻すように－法制化実現により新しい時代がはじまる。市民による協同労働の実践と研究者を結んで、協同労働・協同組合の研究の新しい地平を拓こう－」

これは、6月30日に開催した一般社団法人協同総合研究所第6回総会(通算第28回)でのスローガンです。明日ということが希望に満ち溢れていた昭和の時代から、平成の時代が終わる現代は、明日を迎えることに不安を感じる人が多いなかで、協同総研の果たす役割を端的に表したものであると考えています。

総会には、会員数408(6月30日現在個人・団体計)で、42の会員が参加、委任状は185枚であり、総会が成立しました。暑いなか、ご参加いただいたみなさん、ありがとうございます。法制化を目前とするなかで、協同総研がより社会で認知される存在になりたいと考えています。

その第1弾として、本号にも労協連の準会員に加盟した「株式会社440Hz」の編集で当研究所の新パンフレットを作成しました。パンフレットは研究所の特徴を視覚的にわかりやすく表現しており、協同総研の存在を社会に広げる武器として活用したいと思います。

また本号「協同の発見誌」も、同じ労協連の準会員の加盟した「株式会社アー

ク印刷」が編集しています。日々「協同の発見」を通じて、「協同」作業の「プロセス」を毎月経ながら、当研究誌を発刊しています。

新年度を迎えた2018年度、研究所は、「協同労働」「協同組合」の【「研究」「調査」「政策提言」「開発」「学び」】の5つの視点を深めます。そして「協同労働の協同組合」法制化を通じて「協同労働」「協同組合」の社会的認知を高めたいと思います。その意味でも、広報・発信の重要性とともに、「研究所が社会においてどのようなテーマを問いかけるか」が必要であると思います。その1つとして地域づくり、仕事おこしを市民・労働者が主体的にどのように展開していくのかという視点があります。その意味でも、「協同労働観の変遷」や「協同組合の目指す社会像とその主体のあり方」は大きなテーマになると考えています。

「協同労働観の変遷」については、2018年～2019年にかけて、社会的企業研究会が100回を迎え、私自身も社会的企業研究会の運営委員を行なっていることもあり、今までのワーカーズコープの記録をもとに、論文を作成したいと思います。また「協同組合の目指す社会像とその主体のあり方」については、協同の発見誌5月号(306号)の「協同組合関係7研究所座談会」で話され、研究所間の

共通テーマとして議論することになっています。この2つのテーマは、協同総研だけではなく、他研究所の方々とも討議をするなかで、実践の視点から明らかにできればと考えています。

そして協同総研の会員の皆さんにお願いしたいことは、法制化後の社会を見越した上で、研究所の5つの視点の取り組みを加速させるために、会員1人ひとりのネットワークや知恵を寄せていただくことです。そのために、会員同士の交流の場を、首都圏とともに、関西でもつくります。また「うちの地域でも開催したい」との声をあげていただければ嬉しく思います。

私自身は研究所に来て、5年が過ぎ、6年目を迎えました。この間、「厚生労働省社会福祉推進事業の調査・研究」「協同総研25周年、300号等の研究所の歴史編集」「大学でのワーカーズコープの寄附講座」「組織を超えた『協同』をテーマにおくネットワークづくり」を中心に進めてきました。

しかしまだできていないものもあります。その1つとして「ワーカーズコープ立ち上げ・運営ハンドブック」です。現在、ワーカーズコープ本部の仲間とともに作成中です。法制化施行時にぱっとみて分かりやすく、活用ができるものを作成したいと思います。また海外の最新事情を紹介することや、その事例を日本でどのように活かすのかを考える調査・研

究もこの間できていません。そこで9月～10月にスペイン(労働者協同組合・労働者自主生産組織等、GSEFの参加)、2月にイタリア(コミュニティ協同組合等)に訪問予定です。「協同を基礎に、連帯社会を創造する『協同労働・協同組合』のシンクタンク」として、市民運動・労働運動等の社会運動とつながりながら協同労働の協同組合組織の設立のあり方、組織が持続的な運営をするための必要条件等を、海外の実践から学び、日本の協同労働研究、協同組合研究に活かす土壌をつくります。

総会も終わり、新年度が始まりました。暑い日が続きますが、会員の皆さんと共に汗をかきながら、協同労働の協同組合の法制化実現と施行後にむけた課題を出し合い、ギアをあげて取り組みを推進したいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

研究所活動日誌 (2018.6.16~7.15)

6月

- 15日(金) 高橋巖さん(日本大学)とスペイン訪問の件で懇談
- 17日(日) 緊急フォーラム「地域共生社会の実現へ」(埼玉県ふじみ野市)
- 18日(月) 「協同労働の協同組合」法制化学習会(講師:島村理事長)
- 19日(火) 広島市協同労働プラットフォーム事業 戦略会議
- 21日(木) 労協連・センター事業団合同理事会
- 22-24日(金-日) 労協連総会、センター事業団総代会
- 26日(火) 全国名人・達人サミットin西桂 実行委員会(山梨県西桂町)
イタリアコミュニティ協同組合研究者MICHELE BIANCHIさんと懇談
(田中夏子理事、相良)
- 28日(木) 和歌山大学ワーカーズコープ寄附講座 経済学部との懇親会
- 29日(金) 韓国社会的協同組合ノモ研究所のキムジョンウォン研究委員長と懇談
- 30日(土) 一般社団法人第6回協同総研総会・総会記念フォーラム

7月

- 3日(火) 労協連合同5役会議、協同総研事務局会議
- 4日(水) こみっとプレイス訪問、駒澤大学松本典子ゼミいぶりがっこ戦略会議
- 5日(木) 立命館大学山本耕平先生と懇談、リムボンゼミでのワーカーズコープ論出
講(相良)、埼玉大学寄附講座打合せ(安藤聡彦先生)
- 6日(金) 京都大学 農学部 協同組合論出講(相良)、チョンヘラン会員(佛教大学)と懇談
- 7日(土) 農業、農協問題研究所新潟県支部総会講演(相良)
- 9日(月) 全国協同集会2019事務局会議、日本協同組合学会常任理事会
- 10日(火) 国際協同組合デー記念中央集会
- 11日(水) 沖縄キリスト教学院大学 ワーカーズコープ寄附講座 出講(相良)
- 12-13日(木-金) センター事業団全国所長会議、社会的企業研究会編集委員会、就職氷河期
モデル事業打合せ、ワーカーズコープ立ち上げ・運営ハンドブック座談会

今後の活動予定 (2018.7.16~8.31)

7月

- | | |
|-------------|--|
| 18日(水) | 沖縄キリスト教学院大学ワーカーズコープ寄附講座(玉城直美先生)出講(相良) |
| 19日(木) | 東京農業大学 グローバル経済論(野口敬夫先生) 出講(相良) |
| 20日(金) | 日本社会連帯機構理事会 |
| 21日(土) | JYCフォーラム 総会・研究大会 |
| 23-27日(月-金) | 世田谷サポートステーション就労訓練受け入れ |
| 23日(月) | 京都大学広井良典理事と懇談、第6回ワーカーズコープ立ち上げ・運営ハンドブック準備会 |
| 25日(水) | 協同労働と中間的就労研究会、沖縄キリスト教学院大学 ワーカーズコープ寄附講座 出講(相良)、第1回ふくろう社会連帯カレッジ(平川克美氏) |
| 27日(金) | 労協連理事会、埼玉大学寄附講座打合せ(安藤聡彦先生) |
| 31日(火) | 第2回協同組合関係研究所座談会(JCA) |

8月

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 1日(水) | 協同総研事務局会議 |
| 6-9日(月-木) | 千葉大学 ワーカーズコープ寄附講座(伊丹謙太郎先生) |
| 7日(火) | 労協連合同5役会議 |
| 18日(土) | 日本協同組合学会編集委員会 |
| 20-24日(月-金) | 沖縄国際大学 ワーカーズコープ寄附講座(村上了太先生) |
| 23-24日(木-金) | センター事業団 本部長・事務局長会議 |
| 28日(火) | 日本フロンティアネットワーク 総会 |

2018年度 協同総研理事会予定(案)

第1回 6/30、第2回9/8、第3回11/17、第4回3/16、第5回理事会5/18

第7回総会 2019年6月29日(土)

協同の発見誌活用プロジェクト

「協同」

の

実践・研究の宝庫

今、知りたい情報と問いたいテーマがここに!!

一般社団法人 協同総合研究所

特別価格

1冊 1,000円

販売中!!

会員募集中!!

- 年会費：個人会員／購読会員 12,000円
学生・障がい者 6,000円 団体会員 30,000円
- 会員サービス：会員の方は、総会への参加(年1回)及び下記のサービスが受けられます
 - ・所報『協同の発見』誌（毎月1回）の会員価格適用での頒布
 - ・各種研究会への参加費の会員価格適用
 - ・書籍購入の際の会員価格適用